

関東大学春季リーグ戦

バドミントン

1961

会場 国民体育館 他

期日 5月29日～6月4日

主催 関東学生バドミントン連盟

後援 日刊スポーツ新聞社

男子一部

1. 政法大学

部長 宮本 馨 太郎			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督	折井 利彦	立教大学	
主将	小宮 好雄	関学六浦高	
主務	岩佐 俊二	立教大学	
1	長谷川陽一	瑞陵高	
2	浅見征一郎	立教大学	
3	久保垣 善憲	山形南高	
4	佐藤 情久	緑ヶ丘高	
5	鈴木 幸春	法政大学	
6	長谷川武司	関学六浦高	
7	東条 邦彦	都立四高	
8	松小坂 拓充	関学六浦高	
9	鎌倉 保記	高松一高	
10	福田 朝成	関学三春高	
11	望月 昭	法政大学	
12		上野高	
13			
14			
15			

3. 大塾義心慶

部長 白石		姓名
番	号	選手氏名
		岡 道明
監督	1	中村 智
主將	2	岡野 哲郎
主務	3	薛田 靖男
	4	山田 善康
	5	臼井 宣之
	6	猪浦 健三
	7	今井 国夫
	8	中西 哲郎
	9	宮永 武司
	10	石神 与喜
	11	行形 和也
	12	田中 進
	13	鈴木 明彦
	14	長谷川敏彦
補欠	15	木目 嘉崇
	16	香西 絹忠
	17	井上洋之助
	18	本山 秀昭
		文経文 経法経 南文 法政商 経経経

5. 早稻田大学

部長 岩 片 秀 雄			
出身校	学部 年	選手氏名	番号
早稲田大学	4	利明 昌之	1
高 高	4	小川 和太郎	2
高 高	4	井垣 順一郎	3
高 高	4	石井 彰	4
高 高	4	藤本 正信	5
高 高	4	堀 栄一	6
高 高	4	七沢 宏光	7
高 高	4	清水 寛	8
高 高	4	野村 祥次	9
高 高	4	安田 隆彦	10
高 高	4	今井 清兼	11
高 高	4	安松 良之	12
高 高	4	小木秀次郎	13
高 高	4	世古 叔	14
高 高	4	吉良 悠一	15
高 高	4	遠藤 進	16
		監督	
		主将	
		主務	

6. 中央大

部 長		藤 田 通	
番 号	選 手 氏 名	学 年	
	三須 徳次		
監督 主将	1 武井 秀雄	經 商 法 經	1
主務	2 戸松 雄	商 法 經	2
	3 新田 昇	工 法 經	3
	4 谷口 正志	工 法 經	4
	5 本間 裕之	工 法 經	5
	6 齊藤 嘉知	工 法 經	6
	7 霧生 英作	商 法 經	7
	8 武田 義弘	商 法 經	8
	9 金森 齊務	商 法 經	9
	10 阿部 宏正	經 商 法 經	10
	11 永川 昇三郎	經 商 法 經	11
	12 細川 敏一	經 商 法 經	12
	13 渡部 司	經 商 法 經	13
	14 永井 至	經 商 法 經	14
	15 神 貞夫	經 商 法 經	15
	16 福島 学	經 商 法 經	16
	17 阿部 学	經 商 法 經	17
	18 阿部 学	經 商 法 經	18

二 部

1. 千葉大学

部長 鈴木 次郎			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督 主将 主務	立岩 正孝 戸谷 善一 井上 信 大橋 靖子 岡 陽子 田辺 千佳 行木 成子 八木 邦子	文4 文5 医5 教5 " " " " " " 文3	国府台 両国 両国 千葉二 " " " " " " 富岡
3			高
4			高
5			高
6			高
7			高

2. 成蹊大学

権 葉			
---------------------------	--	--	--

3. 慶応義塾大学

部長 白石 石			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督 主将 主務	岡 道明 中村 智郎 岡野 哲郎 湯浅 良子 中西 陽子 瀬戸 恭子 安川 厚子 井上 頼子 十時	文4 文4 文4 文4 文4 文4 文4 文4 文4	高 高 高 高 高 高 高 高 高
1			高
2			高
3			高
4			高
5			高
6			高
7			高
8			高

4. 明治学院大学

部長 高橋 賢一			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督 主将 主務	山本 孝 海藤 祥子 勅使河原曉子 佐藤 和子 高井喜由江 金井 洋子 佐々木淑子 佐々木孝子 荻掛 久子	社3 " " " " 英4 英3 英3 英2 " " 社1	桜町 双葉学園 時風 翠岡 長沢 水城 東朋 高 高 高 高 高 高 高 高 高
1			高
2			高
3			高
4			高
5			高
6			高
7			高
8			高

5. 津田塾大学

部長 小笠原 悦子			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督 主将 主務	前川 洋子 荒井 純子 鳥井 紀子 竹内五百子 三島 紅子 中道 京子 青山由紀子 遠山 玲子 高橋ひろみ	数3 " " 英4 " " " " 英2 " " " " " "	高松 浦和第一 熊本 酒田 山 " " " " " " お茶水附高
1			高
2			高
3			高
4			高
5			高
6			高
7			高
8			高
9			高

6. 埼玉大学

部長 黒河内			
番号	選手氏名	学部 年	出身校
監督 主将 主務	浅見治内子 村野美智子 須永ゆき子 関根 邦子 日高 顕子 桜井 文子 前原 操 古谷 恵子	教4 " " " " " " " " " " " " " "	高 高 高 高 高 高 高 高
1			高
2			高
3			高
4			高
5			高
6			高
7			高
8			高

春季リーグ戦に寄せて

法政大学体育会バドミントン部主将

平 野

深緑の候と成り又春季リーグ戦が開催されることと成りました。法政大学バドミントン部に籍を置きましてや四年昨年の春、秋共優勝する事が出来ましたが本年も又全員一がんと成って一戦一戦をいや一球一球を慎重に三連覇を目指し“優勝”を我々の手中に収めたく思いますね。

法政は星野、小田の二人が抜けたから今度のリーグ戦は苦戦するだろうと云われる人がありますが、そこは々のフアイトと粘りで充分にカバー出来るものと自負致して居ります。

立 教 大 学 主 将 小 宮 好 雄

学生生活最後の学年を迎え、押かしいい伝統ある立教大学の主将として、責任を感じ、又大きな抱負を抱いている。今シーズンは私がリーグ戦に出場して以来七度目であるが未だかつてない程の激戦が予想される。特に上位三校、即ち法政、立教、慶応が全く同等の力を持っていると思う。その内で我が校が有利である点は、卒業生が少なかった為、リーグ戦経験者が豊富である事だ。その上主力の三年がコンスタントな力を持つようになってきたからである。昨年我校は個人戦においては比較的良好い成績を挙げているが、リーグ戦になると独得な雰囲気になられ、実力を発揮出来なかったきらいがあった。しかし今年は全員が経験者という利点を生かし、慎重に堅実な試合を出来るだろう。ただ、ホームコートを持たない不利を日頃の闘志で補い、立派な、侮めないゲームを競って行きたい。優勝の栄冠が真近かに感じられ又手の届かない所にあるようにも感じられる今季リーグ戦を栄光ある物にしたい。

慶応義塾体育会バドミントン部主将 中 村 智

日吉の丘の銀杏並木の緑にも早やリーグ戦の近さを感じ、その緑にも似た有望な新入部員を迎え部員の層も一段と厚くなり、さらにイソカレの優勝を足がかりとして、黄金時代の再現を期して居ります。

今回のリーグ戦に於いては各校実力伯仲の為、その日のコンディション、オーダーに依り勝敗の決まる事が十分に考えられます。塾は我々最高学年を中心として、全部員一丸となって練習に励み、勝利のみを信じ試合に臨む覚悟で居ります。

シーズン開幕を告げる大会の幕を閉ずる遠征を果敢とするリーグ戦を今年も迎える事となった。毎シーズン行われるこのリーグ戦は毎年所、今年もまたそれらのそんな新たな闘志が自然と湧いてくる。我が明治大学も今リーグ戦を迎えるに当り直にこの戦意はその意の練習等々既に試合に對するに充分な態勢を整えてきた。そしてここ数年來おこっている戦況から今一歩前進すべく全員一丸となって勝利の奪取をめざして意欲を燃やしている。各大学それぞれに異なる戦法をもっているがリーグ戦はそれなりに苦しい試合とはなるうが、一戦一戦を全力をもって当り果敢として戦進する意気である。昨年昔往をなめさせられた大学は勿論、幸いに勝利を収められた大学に對しても面難することなく今年こそ我部の真面目をいかんなく発揮したい。とにかく年二回のリーグ戦ではあるし、思い切ったプレイで戦いぬきたい試合をやりたいと思つて居る。

早稲田大学バドミントン部主将 小 川 昌 之

「一部の春季リーグ戦」を迎えること二年目、春ともなればミスもモグウもそして万物の靈長も浮れだす季節。そんな春に我々は星々輝く大地を連れて星根の下で熟々と毎日の練習に励んできました。

昨年の春季リーグ戦では正面の扉下位置陣に成功し最低の目標を成し遂げました。今年1961年は大空への躍進の年とかか建てもアツキまでも宇宙目指して人間を打ち上げている折柄、我々も敗けてはいられません。天井高くシヤウロウを打ち上げ空で空を飛翔合はして一歩一歩確実に、そして打げに失敗のないよう、上位進出を計っています。先々春はこのリーグ戦の優勝を目指して毎日激しい訓練をされた事と思います。春季リーグ戦で我々は「わんぱくぼうず」の面影をいかに發揮しようと張切っています。くれぐれもこのいたずら坊頭に御注意を、調子ずかせると思つて手のつづられないほど成長しますよ。發育盛りですのだからをすでかすか分りませんがその折は悪しからず練習で進んだ一歩一歩の汗を無駄にしない様、又このリーグ戦を盛り上げるためにも我部の総勢力を結集して正面の扉を叩きたいと思っています。

中央大学学友会バドミントン部主将

武 井 司

いよいよ春のリーグ戦を向える所である。昨シーズンは全く思いもよらない不甲斐ない結果に終り中央大学アツキの優勝や入場券をお支払いになって観戦した人々には誠に申し訳ありませんでした。かりそめにも一落校であるなら、0-1 0-1 の試合は行なつてはいけなない事であります。まして我々は東都大学の雄として恥しくない試合をしなければいけないのです。しかしながら今般は卒業生による痛手もたいした事もなく、一部昇格以來事一般で活躍していた強者が門外無味も増しもとも油の乗り切った所でもありますのでいつものフルメンバーで体当りをし、新調整し畢れん坊中大の名を欲しいままにリーグ戦を盛り上げる事が出来ると思自負している次第です。従つて春の合宿は最も趣向深い平塚にて行い、今迄にない苦しい合宿に耐え何んとか本年は上位に進出すべく全員頑張つて来た所です。とにかくリーグ戦の結果を見ていただきたいと思います。